

# 自分で作る 「人生の手引き」

D班

今村美月・大西洋・西山知希・山本瑞稀



| メンバー | 授業名のキーワード・案                                       |
|------|---|
| 今村   | 教養を備える・豊かで余裕のある暮らし・暮らしの手引き                        |
| 大西   | 生き方・探究・創造・社会(社会人)・活動・自己・人生入門・とてもためになる授業<br>生活・リア充 |
| 西山   | 人生・よりよい人生に・人生を豊かに・カネと政治とその他いろいろ                   |
| 山本   | 有意義・人生・自分たちで見つける・自分たちで作りに上げる・気になる                 |
| 候補   | 自分で見つける人生入門・自分で作るよりよい人生                           |



|          |   |
|----------|---|
| (1) 授業種別 | 演習  |
| (2) 授業概要 | <p>「生き方」について学生が気になることを課題として設定し、その答えを探しながら、探究的な課題解決活動を行う。具体的には、次のような「大学生活で学ぶ機会があまりないが、人生を有意義に過ごす上で必要な事柄」を課題(テーマ)として設定することを想定している。</p> <p>テーマの例:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 大学生活の過ごし方: 単位のとり方・卒業までの計画作成</li><li>- お金に関する話題: 保険・投資・確定申告</li><li>- 旅行を楽しむため・観光を楽しむための教養: 美術館の展示作品の見方を知る</li><li>- 選挙の投票方法: 政策・政治</li><li>- ほかにもいろいろ</li></ul> <p>方法の例:</p> <p>フィールドワークや実習(グループを変えながら3回)</p> <p>3~6回目: 答え探しの雰囲気味わう(体験する)<br/>7~10回目: 探したことを発表する(他者に伝える)<br/>11~14回目: 見つけた答えを実践する(行動に移す)</p> |



|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p>(3) 学位授与方針との関係<br/>(プログラムポリシー)</p> | <p>① (知識・技能)<br/>学士課程教育の基盤となる幅広い学問的および社会的知識と技能を身に付けることができる。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力等の能力)<br/>学部横断型教育プログラムの特徴を活かし、違う視点を持った学生同士が協働的に学ぶことで、「考動力 (自律力、人間力、社会力、国際力、革新力)」を身に付けることができる。</p> <p>③ (主体的な態度)<br/>自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組むことができる。</p>                    |
| <p>(4) 到達目標</p>                       | <p>① (知識・技能)<br/>教養ある人間として社会で生きていくための初歩的かつ幅広い知識を身につけるとともに、疑問に対してのアプローチ方法を学ぶ。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力の能力)<br/>社会で生きていくうえで、自分で考え、判断材料を見つけ、知識や根拠を基に判断できるようになる。</p> <p>③ (主体的な態度)<br/>自らの興味を言葉にして、それを探究するための行動を起こす。同時に、メンバーとの共有や連携を行うことによって、相手とのコミュニケーションの円滑を図る。</p> |
| <p>(5) 授業手法</p>                       | <p>① 教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック</p> <p>② 学生による学習のふりかえり</p> <p>③ 学生同士の意見交換 (グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む)</p> <p>④ プレゼンテーション (スピーチ、模擬授業等含む)</p> <p>⑤ 課題探究 (プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む)</p> <p>⑥ フィールドワーク</p>  |



|             |                 |  |    |   |
|-------------|-----------------|--|----|---|
| (6) 授業計画    | 1               | これまでの人生の総括: 過去(-)から今後(+)へルーブリックとは?           | 9  | グループごとに調べる(継続でも新規でもOK)                    |
|             | 2               | ルーブリック作成: 学生が個々に評価基準を決める作ったルーブリックを交流         | 10 | グループごとに調べる(継続でも新規でもOK)                    |
|             | 3               | 学生それぞれの「いま気になっていること」によってグループ分け               | 11 | 発表準備                                      |
|             | 4               | 気になっていることの調べ方を考える                            | 12 | グループで調べた内容をプレゼン<br>→飲み会→二次会(授業外)          |
|             | 5               | どこへ行けば気になることが解決するか考える                        | 13 | もう一度最初のグループに戻る<br>→前回までの学びを共有(ワールド・カフェ形式) |
|             | 6               | フィールドワークの計画・スケジュールを考える                       | 14 | 各自で学んだことを発表する                             |
|             | 7               | フィールドワーク: 気になることを解決する                        | 15 | これからの人生のイントロダクション                         |
|             | 8               | 学生それぞれの「いま気になっていること」によってグループ分け: 一度別のグループへ移る! |    |   |
| (7) 授業時間外学習 | 常に自己と社会を見つめること。 |  |    |   |

|                        |   |
|------------------------|---|
| <p>(8) 方法</p>          | <p>①定期試験（筆記試験）の成績で評価する。<br/>②定期試験（筆記試験）と平常成績で総合評価する。<br/>③筆記試験に代わる論文（レポート）の成績で評価する。<br/>④筆記試験に代わる論文（レポート）の成績と平常成績で総合評価する。<br/>⑤定期試験を行わず、到達度の確認（筆記による学力確認）で評価する。<br/>⑥定期試験を行わず、到達度の確認（筆記による学力確認）と平常成績で総合評価する。<br/>⑦定期試験を行わず、平常試験（小テスト・レポート等）で総合評価する。</p> |
| <p>(9) 基準・評価</p>       | <p>①（知識・技能）<br/>学生が各自で作成したルーブリックと自己評価に応じて、教員が評価を行う</p> <p>②（思考力・判断力・表現力の能力）<br/>学生が各自で作成したルーブリックと自己評価に応じて、教員が評価を行う</p> <p>③（主体的な態度）<br/>学生が各自で作成したルーブリックと自己評価に応じて、教員が評価を行う</p>  |
| <p>(10) フィードバックの方法</p> | <p>プレゼンテーション終了時には教員と他グループの学生からフィードバックをもらう。<br/>また、適宜各々が作成したルーブリックに即して目標を達成できているか自己評価・教員からの評価を行う。</p>  |

# 学生が作成するルーブリックの例: 今村

|             | 4+  | 4   | 3  | 2  | 1  |
|-------------|---|---|--|--|--|
| 知識・技能       | 教養ある人間としての初歩的かつ <b>幅広い</b> 知識を身につけ、疑問に対しての適切なアプローチ方法を身に着ける。 | 教養ある人間としての初歩的な身につけ、疑問に対して <b>なんらかの方法</b> でアプローチできる。           | <b>教養ある人間</b> としての <b>初歩的な知識</b> を身につけ、疑問に対してのアプローチ方法を <b>模索</b> することができる。 | <b>社会で役立つ何らかの知識</b> を身につける。疑問に対するアプローチ方法を考えることはできるが、実行に移さない。               | 教養ある人間としての初歩的かつ幅広い知識を持たず、疑問に対してのアプローチ方法もわからない。 |
| 思考力・判断力・表現力 | 自分で考え、判断材料を見つけ、 <b>知識や根拠</b> を基に判断できるようになる。                 | 自分で考える姿勢を持ち、グループの仲間と協力して判断材料を見つけ、協議したうえで、 <b>判断</b> することができる。 | <b>自分で考える姿勢</b> を持ち、グループの仲間と協力して判断材料を見つけ、協議することができる。                       | 自分で考える姿勢を持たないが、グループの <b>仲間と協力</b> して <b>判断材料</b> を見つけ、 <b>協議</b> することはできる。 | 自分で物事を考えることができず、判断もできない。                       |
| 主体的な態度      | 自らの学びに責任を持ち、 <b>直面する課題</b> に <b>主体的</b> に取り組むことができる。        | 自らの学びに責任を持ち、グループの仲間たちと <b>積極的</b> に課題に取り組むことができる。             | グループの仲間たちと <b>協力</b> して課題に取り組むことができる。                                      | 最低限、 <b>グループの仲間たちと課題に取り組む</b> ことができる、またはその <b>姿勢</b> がある                   | 自らの学びに責任を持たず、課題に取り組むことができない。                   |



|             | 4+                                    | 4                                       | 3                                       | 2   | 1  |
|-------------|---------------------------------------|---|---|---|--|
| 知識・技能       | 今後の人生で必要な知識や技能を <u>既に理解</u> している      | <u>自身の手で</u> 、今後の人生で必要な知識や技能を理解できる      | <u>他者の支援</u> があれば、今後の人生で必要な知識や技能を理解できる  | 今後の人生で必要な知識や技能に <u>どのようなものがあるか理解</u> している | 今後の人生で必要な知識や技能に <u>どのようなものがあるか理解</u> していない |
| 思考力・判断力・表現力 | 現状の問題点を考え、 <u>優先順位を判断</u> した上で言語化できる  | 現状の問題点を考えて <u>言語化</u> できる               | <u>自身の手で</u> 、現状の問題点を考えることができる          | <u>他者の支援</u> があれば現状の問題点を考えることができる         | 現状の問題点を考えることが難しい                           |
| 主体的な態度      | 現状を分析した上で、自身の人生をよりよくする <u>行動</u> ができる | 現状を分析した上で、自身の人生をよりよくする <u>方法を提案</u> できる | <u>現状を分析</u> した上で、自身の人生をよりよくしようとする姿勢がある | 自身の人生を <u>よりよくしようとする姿勢</u> がある            | 自身の人生をよりよくしようとする姿勢がない                      |





# 学生が作成するルーブリックの例：西山

|             | 4+   | 4  | 3  | 2   | 1   |
|-------------|--|--|--|---|---|
| 知識・技能       | 社会で生きていく上での、初歩的かつ幅広い知識が <u>十分に</u> 身につけており、疑問への正しいアプローチ方法を知っている。 | 社会で生きていく上での、初歩的かつ幅広い知識が身につけており、 <u>疑問へのアプローチ方法</u> を知っている。 | 社会で生きていく上での、初歩的かつ <u>幅広い</u> 知識が身につけておるものの、疑問へのアプローチ方法を知らない。 | <u>社会で生きていく上での、初歩的な知識</u> が身につけておるものの、疑問へのアプローチ方法を知らない。           | 社会で生きていく上での、初歩的かつ幅広い知識が身につけておらず、疑問へのアプローチ方法を知らない。 |
| 思考力・判断力・表現力 | <u>どのような事柄においても</u> 、自分で判断材料を見つけ、考え、正しい判断ができる。                   | <u>自分で</u> 判断材料を見つけ、考え、正しい判断ができる。                          | <u>ほぼ自分で</u> 判断材料を見つけ、考え、正しい判断ができる。                          | <u>他人の協力</u> があれば、 <u>判断材料</u> を見つけ、考え、正しい判断ができる。                 | 自分で判断材料を見つけ、考え、正しい判断ができない。                        |
| 主体的な態度      | 自分の興味に対し <u>積極的に</u> 探究しており、周囲とのコミュニケーション・連携も <u>十分に</u> 取れている。  | 自分の興味に対し <u>探究して</u> おり、周囲とのコミュニケーション・連携も取れている。            | 自分の興味に対し探究する姿勢を持っており、周囲とのコミュニケーション・連携に <u>努めている</u> 。        | 自分の興味に対し探究する <u>姿勢</u> を多少持ち、周囲との <u>コミュニケーション・連携に努めよう</u> としている。 | 自分の興味に対し探究する姿勢を持っておらず、周囲とのコミュニケーション・連携にも努めていない。   |



|             | 4+  | 4   | 3  | 2   | 1                                   |
|-------------|---|---|--|---|-------------------------------------|
| 知識・技能       | 疑問に対して、知識を活用し、 <u>進んで</u> アプローチしていた。                          | 疑問に対して、 <u>知識を活用し、アプローチ</u> していた。                       | 疑問に対して、 <u>知識を活用し、アプローチしよう</u> と努力していた。                                    | <u>疑問</u> に対して、 <u>アプローチ</u> していた。                  | 疑問に対して、アプローチしようとしていなかった。            |
| 思考力・判断力・表現力 | 問題や課題の解決方法を進んで追求・解決し、その内容をプレゼンテーションにおいて <u>十分に</u> 伝えようとしている。 | 問題や課題の解決方法を追求・解決し、その内容をプレゼンテーションにおいて <u>伝えよう</u> としている。 | 問題や課題の <u>解決方法</u> を <u>追求・解決</u> し、その内容をプレゼンテーションにおいて <u>表現しよう</u> としている。 | 問題や課題を <u>解決</u> し、プレゼンテーションにおいて <u>アウトプット</u> できた。 | 問題や課題を解決できず、プレゼンテーションでアウトプットできなかった。 |
| 主体的な態度      | 追求・解決する過程において、 <u>進んで</u> 相手とのコミュニケーションをはかっている。               | 追求・解決する過程において、相手との <u>コミュニケーションをはか</u> っていた。            | 追求・解決する過程において、相手との <u>コミュニケーションをはかろう</u> と努力していた。                          | <u>追求・解決</u> しようとして <u>努力</u> していた。                 | 追求・解決しようとしていなかった。                   |



| 時配  | 学習内容と活動  | 授業中の留意点・評価 |
|-----|--|------------|
| 導入  | <ul style="list-style-type: none"><li>・自己紹介（10分）</li><li>・これまでの人生の総括: 過去(-)から今後(+)<sup>へ</sup>（20分）</li><li>・ループリックについて説明（5分）</li></ul>  |            |
| 展開  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ワーク①（過去で一番楽しかったこと・悔しかったことなど色々）（10分）</li><li>・ワーク②（現在一番楽しいこと・悔しかったことなど色々）（10分）</li><li>・ワーク③（こんな未来を想定してます）（10分）</li></ul> ※①-③はグループワーク<br><br><ul style="list-style-type: none"><li>・Google Formにワークで話したことを振り返って投稿！（15分）<br/>→匿名で全体に共有</li></ul> | シビアなものはNG  |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"><li>・まとめ+次回までの課題（5分）</li><li>・次回以降の説明（5分）</li></ul>  |            |

(11) 参考書

自分自身

(12)



まず、前提条件として…

- アフターコロナ（5年後）/共通教養科目
- 全体をとおして15回分記載し、そのうち単元1つ分（3回程度）の授業計画の詳しい内容を「5 詳細」に記載する。

|                        |   |
|------------------------|---|
| (1) 授業種別（選択）           | 講義 or 演習 から選択                                     |
| (2) 授業概要               | 班で相談  |
| (3) 学位授与方針との関係（最重要を決定） | テンプレートの①～③で、最重要の（最も身に付けてほしい）プログラムポリシー（教育目標）を太字に変更 |
| (4) 到達目標               | (3)を踏まえ、①～③それぞれの到達目標を検討 ※学生が主語                    |
| (5) 授業手法               | ①～⑦を各グループで複数選択（選択しないのは削除）                         |
| (6) 授業計画               | 第1回～第15回の流れを大まかに考える                               |
| (7) 授業時間外学習            | 内容や方法などを記載  |
| (8) 方法                 | ①～⑦を単数選択（選択しないのは削除）、評価割合を下に記載                     |
| (9) 基準・評価              | (4)を踏まえ、評価の割合を検討                                  |
| (10) フィードバックの方法        | 班で相談  |
| (11)～ その他              | 教科書、参考書、担任者への問合せ方法、備考など（班で追加）                     |